

技術研究集会＜実践的技術研究の部＞

主催：（公社）日本地すべり学会関西支部、共催：京都大学防災研究所斜面未災学研究センター
後援：（公社）砂防学会関西支部・（公社）地盤工学会関西支部

日時： 2024年7月4日（木）14:00～16:50（開場 13:30）

場所： ドーンセンター（大阪市中央区大手前1丁目3番49号）およびオンライン開催

○ プログラム

14:00-14:05 趣旨説明

京都大学 王 功輝

14:05-14:55 基調講演「遺跡調査から土地の履歴を探る方法と実践」

奈良文化財研究所 金田 明大

講師は独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所で考古学の研究を進めておられ、同研究所の上席研究員（兼遺跡調査技術研究室長）を務めておられます。主な研究対象は日本・アジアの6～10世紀の窯業製品です。また、地すべり調査でも開発、利用が進む三次元計測、物理探査、GISなどの技術的手法を研究に取り入れて、考古学分野での活用法の模索、普及を進めておられます。

14:55-16:10 技術報告（一人あたり質疑を含め25分）

3Dモデルソフトによる景観検討比較

三浦一宏（復建調査設計（株））

長野県辰野町における住民参加型の防災マップ作成の取り組み

松澤真（京都大学）

稠密地震観測による知見の斜面への応用可能性

土井一生・松浦純生（京都大学）・大澤光・岡本隆（森林総研）・土佐信一・柴崎

達也（国土防災技術（株））・岡庭信幸・大石怜生・澤田麻沙代（京都大学）

16:10-16:15 休憩

16:15-16:45 総合討論「新技術が革新する地すべり防災」 司会：太田英将（太田ジオリサーチ）、パネリスト：講演者

16:45-16:50 閉会の辞

復建調査設計（株） 中井真司

○ 参加申し込み

参加費は無料です。対面（定員約60人）、オンライン（定員約450人）どちらでもご参加いただけます。聴講希望の方は締め切りまでに参加申し込みフォーム <https://x.gd/QOLbv> に必要事項をご記入ください。お申し込みの方にZoomおよび講演資料（PDF）のリンクをメールでお送りします。

締め切り：2024年7月1日（月）or 定員に達した時点（下記意見交換会ご参加の方は6月26日（水）まで）

○ 意見交換会について

17時半から近隣の居酒屋にて意見交換会を実施します。参加ご希望の方は、2024年6月26日（水）までに上記参加申し込みフォームにてお申し込みいただき、支部口座へ参加費（下記）をお振込みください。振込の本人控えをもって領収書の代わりとさせていただきます。領収書は送付しませんのでご注意ください。ただし、会計処理などで必要な場合はご連絡いただけましたら、別途、お送りいたします。

参加費： 一般 5,500円（税抜き5,000円、消費税額500円）

学生 2,200円（税抜き2,000円、消費税額200円）

一般（発表者） 3,300円（税抜き3,000円、消費税額300円）

学生（発表者） 0円

支部口座： ゆうちょ銀行 【店名・店番】448【預金種目】普通預金【口座番号】5452878

公益社団法人日本地すべり学会関西支部 【コウエキシャダンホウジンニホンジスベリガツカイカン】

○ CPDについて

実践的技術研究の部は、一般社団法人建設コンサルタント協会のCPD認定プログラムに申請予定です（2.75ポイント程度のCPDが付与される予定です）。なお、認定試験やレポートは実施しません。CPDを申請される機関の認定条件をご確認ください。

○ お問い合わせ先

（公社）日本地すべり学会関西支部事務局

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所 斜面未災学研究センター内

Tel: 0774-38-4124

E-mail: sympo2024@landslide.dpri.kyoto-u.ac.jp